

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/ (分野)				授業形式									
E1440018		障害児教育演習 (Practical Seminar on Special Education)																		
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
選択		2	3	教育学部			氏名 古長治基・田中新正・池永恵美・古賀精治 E-mail h-koch@oita-u.ac.jp, shimmasa@oita-u.ac.jp; m-ikenaga@oita-u.ac.jp, skoga@oita-u.ac.jp													
授業の概要	動作に不自由のある児・者に大学に来てもらい、動作法（心理リハビリテイションの中心となる指導法）や遊びの指導を実際にを行うことによって、障害児の指導や支援の仕方について方法を学ぶ。																			
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	動作不自由のある子どもの発達の実態を説明できる																			
目標2	動作不自由のある子どもの動作の指導方法について実践できる																			
目標3	動作不自由のある子どもの遊びの指導を実践できる																			
目標4	動作不自由のある子どもの動作や遊びの指導方法に必要な準備・配慮ができる																			
目標5																				
目標6																				
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1	動作不自由のある子どもの保護者との面接の実際																			
2	動作不自由のある子どもの発達検査の実際																			
3	知的障害を伴う動作不自由のある子どもの発達検査の実際																			
4	動作法の観点からみた動作不自由の実態把握																			
5	動作不自由のある子どものコミュニケーションの基礎的能力についての実態把握																			
6	知的障害を伴う動作不自由のある子どものラポートの取り方																			
7	動作不自由のある子どもの遊びの指導																			
8	知的障害を伴う動作不自由のある子どもの遊びの指導																			
9	動作法による姿勢と運動・動作の基本的技能に関する指導 1 - 緊張・弛緩の制御 -																			
10	動作法による姿勢と運動・動作の基本的技能に関する指導 2 - 姿勢保持・変換 -																			
11	動作法による身体の移動能力に関する指導 1 - 重心移動と踏み締め -																			
12	動作法による身体の移動能力に関する指導 2 - 歩行 -																			
13	動作法による作業に必要な基本動作に関する指導 - 上肢の基本動作 -																			
14	動作法による日常生活に必要な基本動作に関する指導 - 書字動作 -																			
15	指導結果のまとめ方																			
ラ ア	A:知識の定着・確認	原則として一人の障害児を担当する。また受講者全員で遊びの指導企画・実施する。 工その他のの																		
イ ク	B:意見の表現・交換																			
ニ テ	C:応用志向																			
ン イ	D:知識の活用・創造																			
グ ブ																				
時間外学修の内容と時間の目安	準備	指導の企画実施のための準備が必要となる (15 h)																		
時間外学修	事後	指導後に、指導の記録をもとに振り返りを行う (15 h)																		
教科書	田中新正 (2014) ダウン症の動作法 - 指導マニュアル -																			
参考書	「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編」 文部科学省 九州大学発達臨床センター (1991) 基礎から学ぶ動作訓練 ナカニシヤ出版 九州大学総合臨床心理センター (2015) 基礎から学ぶ動作法 ナカニシヤ出版																			
成績評価の方法及び評価割合	評価方法					割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
実技の課題到達度						60%														
課題レポート						30%														
教材・教具等の準備とその取組						10%														
注意事項	原則として特別支援教育コースの学生に限る。それぞれ一人の子どもを担当するので、社会的責任を自覚し、参加すること。運動できる服装で出席すること。																			
備考	なし。																			
リンク	URL																			